授業科目名・形態	精神看護方法論Ⅱ（精神看護の展開） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	畠山　禮子　・　戸田博行	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N6-2012npmht				

【授業の主題】

精神に障害をもつ人々に必要な治療・ケア・支援について学び、看護を展開するための基礎的技術について理解・習得する。また、リカバリーに向けた社会復帰・社会参加の基本とその働きかけにおける多職種との連携や看護師の役割について理解する。さらに、精神科看護に必要な安全管理について学ぶ。

【到達目標】

1. 精神に障害をもつ人々に必要な治療・ケア・支援について理解する。
2. 看護を展開するための基礎的技術について理解する。
3. リカバリーに向けた看護師の役割について理解する。
4. 精神科看護に必要な安全管理について理解する。

【授業計画・内容】

第１回　心理学的側面からアプローチする治療・ケア・支援　（畠山）
第２回　社会的側面からアプローチする治療・ケア・支援　（畠山）
第３回　事例から学ぶ精神疾患と看護①（統合失調症）（戸田）
第４回　事例から学ぶ精神疾患と看護②（気分感情障害）（戸田）
第５回　事例から学ぶ精神疾患と看護③（強迫症／強迫性障害）（戸田）
第６回　事例から学ぶ精神疾患と看護④（パニック症／パニック障害）（戸田）
第７回　事例から学ぶ精神疾患と看護⑤（アルコール使用障害）　（戸田）
第８回　事例から学ぶ精神疾患と看護⑥（摂食障害）（戸田）
第９回　事例から学ぶ精神疾患と看護⑦　（パーソナリティ障害）（戸田）
第 10 回　事例から学ぶ精神疾患と看護⑧（引きこもり）（戸田）
第 11 回　安全管理（セーフティマネジメント）（戸田）
第 12 回　地域での自立・統合への支援，地域における精神障害者ニーズと行政等との協働，精神科訪問看護　（戸田）
第 13 回　看護過程展開①（演習）（畠山　戸田）
第 14 回　看護過程展開②（演習）（畠山　戸田）
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

主として講義形式で行うが、適宜リフレクションを取り入れる。

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」「精神看護学概論」「精神看護方法論Ⅰ」「精神看護学実習」

【教科書等】

萱間真美、稲垣　中　精神看護学Ⅱ　地域・臨床で活かすケア　対象者の力を引き出し支える　改訂第３版　南江堂　2023.

【参考文献】

萱間真美、稲垣　中　精神看護学Ⅰこころの健康と地域包括ケア　現代に生きる人々のこころの健康を支える　改訂第３版　南江堂　2023.
岩崎弥生、渡邊博幸　精神看護学②　精神障害をもつ人の看護　メディカルフレンド社

【成績評価方法】

授業参加態度（10%）演習への取り組み（10%）後期定期試験（80%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で看護職として患者や家族への援助方法等について経験。
実務経験から得た看護師としての技術や知識、チーム医療の重要性などについて授業で活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

様々な事例を通し精神を病む人とその家族への看護について一緒に考えていきましょう。